

公益財団法人 日本バレーボール協会
第8期・2017年度 事業報告
(2017年4月1日～2018年3月31日)

1. 事業の概況

(1) 主な日本代表の戦績

シニア男子	第19回アジア選手権大会	優勝
シニア女子	第19回アジア選手権大会	優勝
U-19男子	第15回世界ユース選手権大会	3位
U-23女子	第2回アジアU-23選手権大会	優勝
U-20女子	第19回世界ジュニア女子選手権	3位
U-18女子	第11回アジア選手権大会	優勝

(2) 執行部の刷新

今年度は定例による2年ごとの理事改選が行われ、6月14日の評議員会の結果を受け、会長をはじめとする執行部の大幅な入れ替えがあった。会長には一般社団法人日本バレーボールリーグ機構（以下「Vリーグ機構」という）会長を兼ねる嶋岡健治が就任し、新しく設けられた専務理事には外部より八田茂を登用し、2017年度の執行部は以下のとおりとなった。

会長（代表理事）・・・・・・・・・・・・・・・・・・嶋岡 健治
専務理事（代表理事）・・・・・・・・・・・・・・・・八田 茂
業務執行理事・事務局長・・・・・・・・・・・・・・・・林 孝彦
業務執行理事・ハイパフォーマンス事業本部本部長・・鳥羽 賢二
業務執行理事・ビーチバレーボール事業本部本部長・・桐原 勇人
業務執行理事・業務推進室長・・・・・・・・・・鍛冶 良則

その他非常勤理事14名を加え理事総数は定員いっぱいの20人となった。

(3) 事業区分の再整理

2017年度よりこれまでの9事業による報告から3事業での報告（公益、収益、法人それぞれ1本化）に移行した。

新しい事業区分は以下の通り。

- ・公益目的事業会計（バレーボールの強化・普及・振興事業）
- ・収益事業等会計（肖像使用・バレとも・物品販売等の公益事業の財源を獲得する事業）
- ・法人会計（管理）

(4) 今年のトピックス

- ① FIVB世界クラブ女子選手権2017神戸大会を初めて日本で開催した。
- ② 4年に一度のワールドグランドチャンピオンズカップを東京、名古屋、大阪で開催した。

(5) 中垣内全日本男子チーム監督の人身事故について

2016年11月に起こした人身事故により、被害者をはじめ関係各所にご迷惑とご心配をおかけした。本会は2016年12月に本人をけん責処分とし、2017年1月に書類送検された後、5月

に裁判所より略式命令を受け、6月8日より全日本男子チームに合流した。

(6) ビーチバレーボール国際大会への出場申請漏れについて

2017年6月に開かれた国際大会のエントリーを期限までに行わず、出場希望選手が大会に出場できなくなる事態を招いた。事態を重く受け止め、ホームページへの報告、内閣府への報告を行い、7月の理事会で関係者、責任者に対しけん責処分を行うとともにエントリー作業のスケジュール見直し、複数チェック体制などの再発防止策を講じた。

(7) 体育館の床板の剥離による負傷事故について

2017年6月に本会が召集した男子ジュニアU21合宿参加中の大学生選手が床板の剥離による負傷事故が発生した。過去にも同様の負傷事故が発生しており、関係各所には注意喚起を行い、「危機管理基本マニュアル」を作成するなど防止策を講じていたが、この事故を受け、あらたに「アリーナ（体育館）木床使用におけるハンドブック」を作成し、本会ホームページにバナーを設けるとともに、都道府県バレーボール協会、全国連盟にも注意を呼びかけ、事故の防止と事故後の速やかな対処をお願いした。

(8) 決算について

今年度は昨年度から続く男子チームの人気による入場料の増加もあり、予算を上回る増収・増益となった。今年度から始まった特定費用準備資金等の使用による費用（84百万円）の増加も吸収したうえで、税引後の利益は225百万円と昨年度に続く大幅な増益となった。増益の要因としては、チケット収入が予算を105百万円上回ったほか、各種補助金・交付金も予算を58百万増加したことなどがある。

2. 事業内容

(1) 日本代表の強化・国際大会派遣事業

① 日本代表チーム及び選手の育成・強化事業

全国の社会人、大学生、高校生の中から選抜された有力選手による日本代表チームを編成し、国際競技力向上を図るため以下の諸事業を実施した。

1) 男子・女子シニア日本代表チーム強化合宿

本年度は2020年の東京オリンピックでのメダル獲得を視野に入れ、男子、女子チームとも新体制でスタートした。男子は、前回逃した世界選手権出場権をアジア予選で勝利し獲得した。また、隔年開催のアジア選手権で男女とも優勝した。本年度の世界大会では、「男子ワールドリーグ・グループ2」で準優勝、「女子ワールドグランプリ」は7位。「ワールドグランドチャンピオンズカップ2017」は、男子6位、女子5位で終了した。

■男子：国内合宿・NTC（味の素ナショナルトレーニングセンター）を中心に48日間実施
海外合宿・イタリアで8日間実施

■女子：国内合宿・NTCを中心に61日間実施
海外合宿・オランダで4日間実施

注) シニアチームとはトップレベル選手で構成された日本代表チーム

- 2) 男子・女子 U-23 日本代表チーム強化合宿
 2017 年度に開催された第 2 回アジア U-23 選手権大会及び第 3 回世界 U-23 選手権大会の出場を目指し、選手強化合宿を行う。
 ■男子：国内合宿・NTC を中心に 20 日間実施
 ■女子：国内合宿・NTC を中心に 37 日間実施
 注) U23 チームとは、2017 年の大会出場を予定するため 1995 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム
- 3) 男子・女子ユニバーシアード日本代表チーム強化合宿
 2017 年度に開催されるユニバーシアード大会（2 年に 1 回開催）、また、男子はアジア東部地区大会でのメダル獲得を目標として選手強化合宿を行った。
 ■男子：国内合宿・NTC ほかに 16 日間実施
 ■女子：国内合宿・NTC ほかに 27 日間実施
 注) ユニバーシアードチームとは、主に大学生を中心に構成される日本代表チーム
- 4) 男子・女子ジュニア日本代表チーム強化合宿
 女子チームは第 19 回世界ジュニア女子選手権大会でのメダル獲得、来年度第 19 回アジアジュニア選手権大会（U-20）でのメダル獲得を目標として選手強化合宿を行った。
 ■男子：国内合宿・NTC ほかに 25 日間実施
 ■女子：国内合宿・NTC を中心に 51 日間実施
 注) ジュニアチームとは、男子が 1997 年 1 月 1 日以降に、女子が 1998 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム
- 5) 男子・女子ユース日本代表チーム強化合宿
 第 15 回世界ユース選手権大会でのメダル獲得を目指し選手強化合宿を行った。
 ■男子：国内合宿・NTC ほかに 20 日間実施
 ■女子：国内合宿・NTC を中心に 32 日間実施
 注) ユースチームとは、2017 年の大会出場を予定するため、男子が 1999 年 1 月 1 日以降に、女子が 2000 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム。
- ② 競技活動を行う選手の競技・練習環境の整備事業
- 1) 日本代表選手のメンタルトレーニング、メディアトレーニング、ドーピング・栄養講習を実施した。
 - 2) ナショナルトレーニングセンターの専用コートの特ラフレックス床の張替えを実施した。また常時 2 面コート仕様から、4 面仕様も可能にした。
 - 3) 同専用コートの特ラ遅延映像投影スクリーンを、より選手が確認しやすい位置に変更し鮮明度をあげた。
- ③ 将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業
- 1) 全国小学生・中学生・高校生長身選手発掘事業
 将来有望な長身選手の発掘、育成、強化を目的に、公募および推薦によるオーディションを行い、選抜した有望選手の育成強化合宿を実施した。

- ④ 競技力向上にかかわるバレーボール技術の調査研究及びスポーツ医・科学の調査研究事業
- 1) 日本代表選手の体力測定評価、測定結果に基づくトレーニング処方立案と提言を行う。
 - 2) 日本チームとの対戦が想定される外国チームの戦力掌握を行う。
 - 3) トレーナーの育成、教育を行い、日本代表チームに派遣する。
 - 4) 日本代表チームにドクターを派遣し、歯科・整形外科診断を中心に選手の健康維持、怪我防止及び傷害発生時の対処、薬剤の手配を行う。
 - 5) アンチ・ドーピングの啓発と普及及び研修を行う。
 - 6) 日本開催の国際大会及びビーチバレーボールを含む主要国内大会で日本代表選手を中心にドーピング検査を実施する。
- ⑤ 日本代表選手団の国際大会派遣事業
- 選手強化合宿の効果を検証するとともに、実戦（試合）を経て得られる技術、戦術ほか総合的な競技力向上を目的として以下の各大会に日本代表選手団を派遣した。
- 1) シニア日本代表チーム
 - 男子：FIVB（国際バレーボール連盟）ワールドリーグ 2017・2nd グループ
（スロバキア、日本、中国、6/2～18 及び決勝 Final 4 6/24～25）
第 19 回アジア男子選手権大会（インドネシア、7/24～8/1）
FIVB ワールドグランドチャンピオンズカップ 2017(名古屋、大阪、9/12～17)
FIVB 世界選手権 2018 アジア男子最終予選（オーストラリア、7/12～16）
 - 女子：FIVB ワールドグランプリ 2017・1st グループ
（オランダ、日本、香港、7/14～23 及び決勝 中国、8/2～6）
第 19 回アジア女子選手権大会（フィリピン、8/9～17）
FIVB ワールドグランドチャンピオンズカップ 2017（東京、名古屋、9/5～9/10）
 - 2) ユニバーシアード日本代表チーム
 - 男子・女子：第 29 回ユニバーシアード競技大会(台北、8/19～30)
 - 男子：東アジア地区男子選手権大会（モンゴル、5/20～25）
 - 3) U-23 日本代表チーム
 - 男子：第 2 回アジア U-23 選手権大会(インドネシア、5/1～9)
第 3 回世界 U-23 選手権大会(エジプト、8/18～25)
 - 女子：第 2 回アジア U-23 選手権大会(タイ、5/13～21)
第 3 回世界 U-23 選手権大会(スロベニア、9/10～17)
 - 4) ジュニア日本代表チーム
 - 女子：第 19 回世界ジュニア女子選手権大会（メキシコ、7/14～23）
 - 5) ユース日本代表チーム
 - 男子：第 15 回世界ユース選手権大会（バーレーン、8/18～27）
 - 女子：第 15 回世界ユース選手権大会（アルゼンチン、8/18～27）

◆シニア全日本男子チーム大会成績等

大会名	大会成績	期間	開催地	個人賞受賞者・備考
ベスピオカップ (親善大会)	1勝1敗	5/27～5/29	イタリア	※イタリア、アルゼンチンと親善試合
FIVBワールドリーグ2017 グループ2	準優勝	6/2～6/25	スロバキア 高崎 中国 オーストラリア	
2018男子世界選手権 アジア最終予選	優勝	7/12～7/16	オーストラリア	
第19回アジア選手権	優勝	7/24～8/1	インドネシア	藤井直伸 (ベストセッター賞) 李博 (ベストミドルブロッカー賞) 石川祐希 (MVP・ベストアウトサイドスパイカー賞)
ワールドグランド チャンピオンズカップ2017	6位	9/12～9/17	名古屋・大阪	井手智 (ベストリベロ賞)

月日	開始時刻	対戦カード	結果	DIP	時間	開催地	会場	観客数	放送局	放送時間	視聴率
FIVBワールドリーグ2017											
6月9日(金)	19:10～	日本×トルコ	○3-1	4.75	1:57	群馬県	高崎アリーナ	5,600	TBS	BS-TBS:生放送 地上波:25:20～	---
6月10日(土)	19:10～	日本×スロベニア	○3-2	0.21	2:25	群馬県	高崎アリーナ	6,500	TBS	BS-TBS:生放送 地上波:26:08～	---
6月11日(日)	19:10～	日本×韓国	○3-0	6.33	1:17	群馬県	高崎アリーナ	6,500	TBS	BS-TBS:生放送 地上波:25:50～	---
FIVBワールドグランドチャンピオンズカップ2017											
9月12日(火)	19:15～	日本×アメリカ	●0-3	7.66	1:34	愛知県	日本ガイシホール	8,000	日本テレビ	生放送	9.5%
9月13日(水)	19:15～	日本×フランス	●0-3	4.66	1:27	愛知県	日本ガイシホール	8,000	日本テレビ	生放送	8.3%
9月15日(金)	19:15～	日本×イタリア	●1-3	1.75	2:22	大阪府	大阪市中央体育館	8,000	日本テレビ	生放送	9.5%
9月16日(土)	19:15～	日本×イラン	●1-3	4.50	1:58	大阪府	大阪市中央体育館	8,200	日本テレビ	生放送	8.7%
9月17日(日)	18:15～	日本×ブラジル	●0-3	7.00	1:32	大阪府	大阪市中央体育館	8,200	日本テレビ	生放送	6.9%

◆シニア全日本女子チーム大会成績等

大会名	大会成績	期間	開催地	個人賞受賞者・備考
FIVBワールドグランプリ2017 グループ1	7位	7/7～7/23	オランダ 仙台 香港	
第19回アジア選手権	優勝	8/9～8/17	フィリピン	岩坂名奈 (セカンドベストミドルブロッカー賞) 小幡真子 (ベストリベロ賞) 新鏡理沙 (MVP)
ワールドグランド チャンピオンズカップ2017	5位	9/12～9/17	東京・名古屋	冨永こよみ (ベストセッター賞) 井上琴絵 (ベストリベロ賞)

月日	開始時刻	対戦カード	結果	DIP	時間	開催地	会場	観客数	放送局	放送時間	視聴率
FIVBワールドグランプリ2017											
7月14日(金)	19:10～	日本×タイ	○3-1	2.75	1:42	宮城県	カメイアリーナ仙台	2,950	NHK BS	生放送	---
7月15日(土)	14:10～	日本×セルビア	●0-3	4.66	1:27	宮城県	カメイアリーナ仙台	3,650	フジテレビ	録画:15:00～	---
7月16日(日)	13:15～	日本×ブラジル	○3-2	0.86	2:24	宮城県	カメイアリーナ仙台	3,900	NHK総合	生放送	---
FIVBワールドグランドチャンピオンズカップ2017											
9月5日(火)	19:15～	日本×韓国	○3-0	2.66	1:45	東京都	東京体育館	10,000	日本テレビ	生放送	11.4%
9月6日(水)	19:15～	日本×ロシア	●1-3	2.25	2:14	東京都	東京体育館	10,000	日本テレビ	生放送	10.6%
9月8日(金)	19:15～	日本×ブラジル	○3-2	3.26	2:26	愛知県	日本ガイシホール	8,000	日本テレビ	生放送	11.4%
9月9日(土)	19:15～	日本×アメリカ	●2-3	1.30	2:40	愛知県	日本ガイシホール	8,000	日本テレビ	生放送	14.1%
9月10日(日)	18:15～	日本×中国	●1-3	4.25	2:03	愛知県	日本ガイシホール	8,000	日本テレビ	生放送	11.7%

◆アンダーカテゴリー全日本男女チーム大会成績等

男子	大会名	大会成績	期間	開催地	個人賞受賞者・備考
U-19男子	第11回アジア選手権	優勝	3/28～4/5	ミャンマー	富浦健人 (MVP) 佐伯聖海 (ベストアウトサイドスパイカー賞) 佐藤駿一郎 (ベストミドルブロッカー賞)
	第15回世界選手権	3位	8/18～8/27	バーレーン	中村駿介 (ベストセッター賞) 市川健太 (ベストリベロ賞)
U-21男子	第19回世界選手権	13位	6/23～7/2	チェコ	※前回大会は14位 ※大陸代表ではなくFIVB推薦枠で出場
U-23男子	第2回アジア選手権	準優勝	5/1～5/9	イラン	大宅真樹 (ベストセッター賞) 勝岡将斗 (ベストアウトサイドスパイカー賞)
	第3回世界選手権	6位	8/18～8/25	エジプト	※過去2大会は世界選手権の出場権獲得できず ※15点7セット制などテストルール運用実施
ユニバ男子	東アジア地区選手権	優勝	5/20～5/25	モンゴル	大竹竜貴 (MVP) 松井崇二 (ベストコーチ)
	ユニバーシアード競技大会	3位	8/20～8/29	台北	

女子	大会名	大会成績	期間	開催地	個人賞受賞者・備考
U-18女子	第11回アジア選手権	優勝	3/5～3/13	中国	西川有喜 (MVP・ベストアウトサイドスパイカー賞) 水杉玲奈 (ベストリベロ賞)
	第15回世界選手権	5位	8/18～8/27	アルゼンチン	※前回大会は9位
U-20女子	第19回世界選手権	3位	7/14～7/23	メキシコ	松井珠己 (ベストセッター賞)
U-23女子	第2回アジア選手権	優勝	5/13～5/21	タイ	山内美咲 (MVP) 杉部香 (ベストミドルブロッカー賞) 櫻井美樹 (ベストセッター賞)
	第3回世界選手権	9位	9/10～9/17	スロベニア	※15点7セット制などテストルール運用実施
ユニバ女子	VIVカップ	優勝	7/8～7/15	ベトナム	今村優希 (MVP・ベストスコアラー賞) 山内美咲 (ベストオポジット賞) 栗田真葉 (ベストセッター賞) 小島清菜美 (ベストリベロ賞)
	ユニバーシアード競技大会	準優勝	8/20～8/29	台北	

⑥ ビーチバレーボール男女日本代表チーム

男子強化指定選手10名、女子11名(2017年12月)を新たに選出して2020東京オリンピックでのメダル獲得を最大の目標として強化を図る。男子においてはVリーグからの転向選手、石島、越川を早急にビーチ選手として強化を図る必要から、2017年7、8月のアメリカ合宿、2018年1-3月までのブラジル合宿を実施。本来インドアからビーチ転向選手には3年の強化が必要と言われているなかで着実に成果も現れ現在のビーチのトップ選手として存在している。また、ベテラン選手の白鳥、上場、長谷川選手も技量、経験から2020東京五輪を目指せる選手である。女子については能力のあるVリーグからの転向選手と経験のある選手がチームを組み各チームごとにプライベートコーチの指導の下、強化を図った。特に、女子においてはFIVBランキングにおいて、28位：石井美樹・村上めぐみペア(国別ランキング13位)
38位：二見梓・長谷川暁子ペアの2組は世界上位ランクに近づいている。

1) FIVB世界選手権(オーストラリア、7/28～8/6)

残念ながら標記の世界選手権大会には男女とも出場することが出来なかった。FIVBランキング24位以内、AVC(アジアバレーボール連盟)大会ツアーベスト4チームに世界選手権出場の権利が与えられる。

2) FIVB ワールドツアー（以下「WT」という）出場成績（2017年4月～2018年3月）

■女子

WT 世界大会 17 大会に延べ 32 チームが出場（1 スター～5 スター）。上位成績は下記の通り

WT 大会名	順位	出場選手
韓国（7月）	1位	石井美樹—村上めぐみ
モロッコ（7月）	2位	長谷川暁子—二見梓
オランダ（10月）	4位	石井美樹—村上めぐみ
オーストラリア(11月)	4位	長谷川暁子—二見梓
5位入賞：モロッコ・中国・韓国・オーストラリア		

■男子

WT 世界大会 9 大会に延べ 15 チームが出場（1 スター～5 スター）。上位成績は下記の通り

WT 大会名	順位	出場選手
フランス	9位	長谷川徳海—越川優
その他大会においては、17位～41位		

3) AVC アジアツアー（以下「AVC大会」という）出場成績（2017年4月～2018年3月）

■女子

AVC6 大会に延べ 17 チーム出場。成績は下記の通り

AVC 大会	出場チーム数	順位
タイ（4月）	2チーム	4位・9位
タイ（4月）	3チーム	5位・9位・9位
ベトナム（4月）	2チーム	7位・13位
ベトナム（5月）	2チーム	5位・17位
インドネシア（10月）	2チーム	3位・5位
日本（10月）	6チーム	3・5・5・5・9・9位

■男子

AVC5 大会に延べ 13 チーム出場。成績は下記の通り

AVC 大会	出場チーム数	順位
タイ（4月）	2チーム	5位・9位
タイ（4月）	2チーム	9位・9位
カタール（5月）	2チーム	9位・17位
インドネシア（10月）	2チーム	5位・9位
日本（10月）	4チーム	5・9・9・17位

⑦ ビーチバレーボール世代別男女日本代表チーム

2020 東京五輪以降、2024、2028 五輪を目指したジュニアの有望選手の発掘、育成、強化を目指した取組みに着手した。特に U19 ナショナルチームメンバー選考会として全国理事長宛に有望選手推薦を依頼するなど選手発掘に力を入れた。

特に下記の点について協議するとともに、今後の課題でもある。

- 1) ユースから代表チームにつながる一貫した強化システムの構築。
- 2) 専任スタッフを配置し、中長期的な戦略の下での強化体制の整備→酒匂・牛尾の専任指導。

- 3) アンダーカテゴリーに「プロジェクト・コア」を立上げ、魅力ある組織とする。
 4) ハイパフォーマンス事業本部との連携を図りインドアからビーチへの流れをつくる。
 今年度のアンダーカテゴリーの大会への出場チームに下記選手を出場させた。

・AVC U-19 アジア選手権大会 (タイ、3/23~25)

【成績：女子：関 莉菜—三好真由 (5位) →7月の世界選手権大会出場】

男子：堀川貴之—安達龍一 (9位)

(2) 国際大会開催及び国際貢献・交流事業

① 国際大会開催事業

1) FIVB 世界クラブ女子バレーボール選手権 2017 神戸大会

FIVB が主催するクラブチームの国際大会。1991年に第1回大会がサンパウロ (ブラジル) で開催されると、1992年にイェージ (イタリア) で第2回大会、1994年にサンパウロ (ブラジル) で第3回大会を行ったのち、2010年のドーハ (カタール) で16年ぶりに第4回大会が開催された。それ以降は1年に1度、世界のトッププレーヤーが「クラブ世界一」を懸けて戦う大会として、世界各地で盛り上がりを見せている。11回目の開催となる2017年の神戸大会には、久光製薬スプリングス (開催国選出チーム) と NEC レッドロケッツ (アジアクラブ選手権優勝チーム) が出場した。

▶開催期間：5月9日 (火) ~14日 (日)

▶開催都市：神戸 (グリーンアリーナ神戸)

▶参加国：合計8チーム参加

久光製薬スプリングス (日本)	開催国代表
NEC レッドロケッツ (日本)	2016 アジアクラブ女子選手権大会優勝
レクソナ (ブラジル)	2017 南米クラブ選手権優勝
ワクフバンク・イスタンブール (トルコ)	2017 ヨーロッパチャンピオンズリーグ優勝
エジザジュバシュ・イスタンブール (トルコ)	ワイルドカード
ボレロ・チューリヒ (スイス)	
ネスレ・オザスコ (ブラジル)	
ディナモ・モスクワ (ロシア)	

試合数：計20試合《1日4試合×5日》

最終順位：

1位	ワクフバンク・イスタンブール
2位	レクソナ
3位	ボレロ・チューリヒ
4位	エジザジュバシュ・イスタンブール
5位	ディナモ・モスクワ
6位	ネスレ・オザスコ
7位	NEC レッドロケッツ
8位	久光製薬スプリングス

【個人賞】 ベストセッター賞 山口かなめ選手 (NEC レッドロケッツ)

2) FIVB ワールドリーグ 2017

FIVB は、男子バレーボールの世界一を決める本大会を毎年開催している。本年度日本では、第二グループ予選ラウンド第2週（プール E2）を FIVB と協力して開催した。

- ▶開催期間：6月9日（金）～11日（日）
- ▶開催都市：高崎（高崎アリーナ）
- ▶参加国：日本、スロベニア、トルコ、韓国
- ▶試合数：計6試合《1日2試合×3日》

日付	試合結果	入場客数
6月9日	日本3（25-15. 26-24. 25-27. 25-16） 1トルコ	5,600
6月10日	日本3（25-22. 17-25. 25-18. 22-25. 17-15） 2スロベニア	6,500
6月11日	日本3（25-18. 25-18. 25-20） 0韓国	6,500

3) FIVB ワールドグランプリ 2017

FIVB は、女子バレーボールの世界一を決める本大会を毎年開催している。本年度日本では、第一グループ予選ラウンドの第2週（プール D1）を FIVB と協力して開催した。

- ▶開催期間：7月14日（金）～16日（日）
- ▶開催都市：仙台（カメイアリーナ仙台）
- ▶参加国：日本、タイ、セルビア、ブラジル
- ▶試合数：計6試合《1日2試合×3日》

日程	試合結果	入場客数
7月14日	日本3（25-19. 17-25. 25-18. 25-19） 1タイ	4,000
7月15日	日本0（21-25. 20-25. 20-25） 3セルビア	4,000
7月16日	日本3（25-22. 26-24. 19-25. 20-25. 17-15） 2ブラジル	5,000

4) FIVB ワールドグランドチャンピオンズカップ 2017

4年に一度、オリンピックの翌年に開催。世界各国が次のオリンピックへ向け、新たにスタートさせたチームによる最初の世界一決定戦。前年に開催されたオリンピックの最終順位から、男女ともにアジア、ヨーロッパ、南米、北中米の4大陸がグラチャンバレー2017の出場枠を獲得。各大陸の世界ランキング最上位チーム（男女各4チーム）、開催国・日本と、FIVB および開催国組織委員会による推薦国（ワイルドカード）を加えた6チームで競われる。

- ▶開催期間：9月5日（火）～9月17日（日）《男女各5試合日》
- ▶開催都市：東京、名古屋、大阪の3都市
- ▶参加国：4大陸の最上位ランキングチーム、開催国・日本、推薦国の計6チーム
- ▶試合数：女子大会 計15試合／男子大会 計15試合
《1日3試合×5日×男女大会》

■男女出場国

男子		女子	
開催国	日本	開催国	日本
アジア	イラン	アジア	中国
ヨーロッパ	フランス	ヨーロッパ	ロシア
南米	ブラジル	南米	ブラジル
北中米	アメリカ	北中米	アメリカ
推薦国	イタリア	推薦国	韓国

■試合結果

女子チーム

日程	試合結果	視聴率/入場客数
9月5日	日本3 (25-23. 25-21. 26-24) 0 韓国	11.4% / 10,000
9月6日	日本1 (25-22. 18-25. 22-25. 26-28) 3 ロシア	10.6% / 10,000
9月8日	日本3 (25-18. 25-27. 25-15. 16-25. 15-6) 2 ブラジル	11.4% / 8,000
9月9日	日本2 (25-22. 21-25. 28-26. 21-25. 12-15) 3 アメリカ	14.1% / 8,000
9月10日	日本1 (22-25. 26-24. 18-25. 16-25) 3 中国	11.7% / 8,000

男子チーム

日程	試合結果	視聴率/入場客数
9月12日	日本0 (21-25. 18-25. 13-25) 3 アメリカ	9.5% / 8,000
9月13日	日本0 (15-25. 23-25. 23-25) 3 フランス	8.3% / 8,000
9月15日	日本1 (23-25. 25-22. 20-25. 22-25) 3 イタリア	9.5% / 8,000
9月16日	日本1 (25-21. 19-25. 20-25. 14-25) 3 イラン	8.7% / 8,200
9月17日	日本0 (17-25. 15-25. 22-25) 3 ブラジル	6.9% / 8,200

■最終順位

最終順位	男子チーム	女子チーム
1位	ブラジル	中国
2位	イタリア	ブラジル
3位	イラン	アメリカ
4位	アメリカ	ロシア
5位	フランス	日本
6位	日本	韓国

5) AVC ビーチバレーボールアジアツアー

アジアツアーは AVC が主催するアジアにおけるビーチバレーボールイベント。毎年東南アジア地区を中心に年間5大会ほど開催されている。アジアツアーで獲得できるポイントは世界ランキングにも大きく影響する為、アジア各国から世界を目指す強豪チームの出場が見込まれる。

- 開催期間：10月6日（金）～10月9日（月・祝）
- 開催都市：大阪（グランフロント大阪うめきた広場）

- ▶参加チーム：男女各 24 チーム（最大）
- ▶大会方式：本戦＝プール戦（8 プール×3 チーム）→シングルエリミネーション（※）
（※） シングルエリミネーション方式：負けたら敗退のトーナメント方式

■試合結果

最終順位	男子ペア	女子ペア
1 位	Julio / Ahmed Tijan (QAT)	Artacho Del Solar / Clancy (AUS)
2 位	Gilang / Danang (INA)	Dhita / Putu (INA)
3 位	Candra / Ashfiya (INA)	石井美樹 / 村上めぐみ（日本）

② 国際貢献・交流事業

1) FIVB 及び AVC 役員等派遣事業

世界のバレーボール界の統轄組織である FIVB と、アジアのバレーボール界の統轄組織である AVC の理事職及び競技運営、審判規則、指導普及、医事ほか各種委員会の委員として本会の代表を派遣し、世界のバレーボール界の発展に尽力し国際的な貢献を行った。

本年は、FIVB 及び AVC 理事会のほか、各種会議に当該メンバーを派遣するとともに、国際レベルの指導者講習会への講師派遣や、FIVB および AVC が主催する大会へ競技役員ならびに審判員を派遣した。

2) バレーボールバンク事業

発展途上国に対し、競技会で使用したボールや全国のバレーボール愛好者から寄贈されたボール、バレーボール用器具等を寄贈して競技の普及を図り、同時に様々なバレーボール情報を提供し、発展途上国のスポーツ振興に寄与した。

併せて同事業の戦略的展開を通じ、寄贈対象となった各国のバレーボール協会（NF）との友好を結び、連携強化を図った。

(3) 講習会開催、指導者、審判員等養成及び資格認定・登録事業

① 講習会開催事業

1) ビーチバレーボール審判講習会

ビーチバレーボールの審判員・競技者を対象に、ビーチバレーボールブロック審判講習会を開催する。更に、ビーチバレーボール選手及び指導者を対象に、ルール説明会を開催する。

講習会名等	開催期間	開催都市	参加者数
全国ビーチバレーボール審判講習会	2017/3/25～26	神奈川県川崎市	170
ビーチバレーボールブロック審判講習会	5/13	福井県	24
	5/20	愛媛県	32
ビーチバレーボール審判員研修会	8/8～10	神奈川県川崎市	13
A級審判員研修会（ビーチバレーボール）	8/24～27	神奈川県平塚市	15
ビーチバレーボールトップ選手連携事業 （選手向けルール説明会）	5/13	東京	50
	5/20	横浜	100
	5/27	神戸	100

② ゴールドプラン関連事業

1) Vリーグ選手と一緒にバレーボール教室

No.	開催期日	開催地	Vリーグチーム	参加者数 男子	参加者数 女子	未経験者数	保護者・指導者数	合計
1	7/1 (土)	滋賀	JT サンダーズ	29	108	30	54	227
2	7/9 (日)	東京	堺ブレイザーズ	30	142	8	111	283
3	7/23 (日)	愛媛	VC長野トライデンツ	38	58	5	77	173
4	8/12 (土)	秋田	日立リヴァーレ	8	102	18	74	205
5	8/19 (土)	大阪府	VC長野トライデンツ	31	187	30	85	303
6	8/27 (日)	鹿児島	東京ヴェルディ	21	114	6	80	215
7	9/9 (土)	沖縄	つくばユナイテッド Sun GAIA	31	130	69	73	234
8	9/16 (土)	高知	東京ヴェルディ	34	70	21	56	160
9	9/17 (日)	岐阜	ジェイテクト STINGS	62	77	6	67	206

2) 全国小中学生一貫バレーボール教室

No.	開催期日	開催地	小学生 選手数	中学生 選手数	小学生 指導者数	中学生 指導者数	合計
1	11/5 (日)	兵庫	51	46	11	6	114
2	11/11 (土)	新潟	67	36	4	18	125
3	12/23 (土)	北海道	83	49	18	10	160

3) 保育園等でのソフトバレーボール実践事業

No.	ブロック	開催期日	開催地	幼稚園・保育園名	参加園 児数
1	北海道	6/15 (木)	北海道札幌市	学校法人田畑学園認定こども園北郷あゆみ幼稚園	23
2	東北	5/19 (金)	宮城県仙台市	(宗) 宝泉寺 中田幼稚園	34
3	関東	12/27 (水)	栃木県大田原市	学校法人野崎幼稚園認定こども園	30
4	東海	10/30 (月)	三重県津市	津市白山乳幼児教育センター／津市立白山幼稚園・保育園	54
5	中国	5/18 (木)	岡山県岡山市	社会福祉法人白ゆり会第二白ゆり保育園	50
6	四国	11/10 (金)	高知県高知市	高知市ちより保育園	109
7	九州	10/14 (土)	長崎県時津町	学校法人時津学園時津幼稚園	24

4) 全国小学生バレーボール指導者研修会

■一次講習会

開催期日	開催地	会場	受講者数
5/20 (土) ~21 (日)	埼玉	深谷市総合体育館	296
5/20 (土) ~21 (日)	滋賀	大津市立瀬田東小学校体育館	146
7/1 (土) ~ 2 (日)	宮城	利府町総合体育館	242
9/9 (土) ~10 (日)	長野	御代田町立御代田中学校体育館	128

■二次講習会

開催期日	開催地	会 場	受講者数
9/23 (土) ~24 (日)	北海道	北星学園大学	109
10/21 (土) ~22 (日)	大阪	新日鉄住金堺体育館	172
10/21 (土) ~22 (日)	福島	福島市あずま総合体育館	148
11/25 (土) ~26 (日)	栃木	真岡市総合体育館	264

■三次講習会

開催期日	開催地	会 場	受講者数
11/4 (土) ~5 (日)	長崎	三菱重工総合体育館	70
11/18 (土) ~19 (日)	岩手	八幡平市総合運動公園体育館	89
1/20 (土) ~21 (日)	福岡	福岡大学	38
2/10 (土) ~11 (日)	千葉	浦安市運動公園総合体育館	102

5) 全国中学生バレーボール指導者研修会

開催期日	ブロック	開催地	会 場	受講者数
8/2 (水)	関東	神奈川	海老名運動公園総合体育館	40
8/26 (土)	近畿	大阪	大阪府私立相愛中学校	80
8/26 (土)	東海	静岡	焼津市立焼津中学校	60
8/26 (土)	四国	徳島	藍住町立藍住中学校	15
10/23 (日)	近畿	滋賀	滋賀県立武道館こおの浜ふれあいスポーツセンター	40
9/9 (土)	北信越	長野	長野市立篠ノ井西中学校	80
9/16 (土) ~17 (日)	九州	長崎	諫早市立真城中学校	95
9/23 (土) ~24 (日)	九州	沖縄	与那原町立与那原中学校	40
10/14 (日)	東北	岩手	岩手県オガールベース	40
10/29 (日)	北海道	北海道	札幌市立月寒中学校	40
2018/1/5 (金) ~6 (土)	北海道	北海道	芦別市総合体育館	40
1/13 (土)	中国	鳥取	出雲市立湖陵中学校	40
2/10 (土)	関東	東京	味の素ナショナルトレーニングセンター	35

③ 指導者養成事業

上記のほか各種別の指導者を対象に以下の養成講習会等を開催した。

1) 都道府県別バレーボール指導者研修会

No.	開催期日	開催地	会 場	受講者数
1	2018/2/18 (日)	青森	青森県木造高校	20
2	12/9 (土)	山形	山形市江南体育館	27
3	2018/2/17 (土)	茨城	土浦第二	40
4	11/23 (木)	群馬	育英期大学体育館	22
5	10/29 (日)	埼玉	北本市体育センター	37
6	8/11 (金)	東京	中村中学・高校	12
7	9/23 (土) ~24 (日)	静岡	静岡産業大学経営学部スポーツセンター	251
8	12/3 (日)	岐阜	東美濃ふれあいセンター	69
9	11/19 (日)	滋賀	瀬田公園体育館	44
10	12/2 (土)	大阪	大阪府立藤井寺工科高校	44
11	2018/1/20 (土) ~21 (日)	鳥取	青谷町農林漁業者トレーニングセンター	25

12	8/5 (土)	岡山	岡山市立高島中学	24
13	12/2 (土)	広島	広島県スポーツ会館	17
14	8/12 (土) ~13 (日)	佐賀	市村記念体育館	57
15	8/26 (土)	熊本	熊本市立江南中学校	53

2) ソフトバレーボール リーダー養成講習会

No.	開催期日	開催地	会 場	受講者数
1	4/30 (日)	大阪	竹田薬品大阪体育館	33
2	6/3 (日) ~4 (日)	山口	周南市学び交流プラザ	31
3	6/3 (土) ~4 (日)	東京	東京ドームスポーツセンター東久留米	30
4	6/11 (日)	徳島	徳島市立青少年交流プラザ B&G 海洋センター	34
5	6/17 (土) ~18 (日)	茨城	下妻市立大宝体育館	76
6	7/1 (土)	群馬	前橋市民体育館	30
7	7/2 (日)	愛媛	松山コミュニティーセンター	45
8	7/2 (日)	佐賀	小城市芦刈地域交流センター「あ しぼる」文化体育館	122
9	7/2 (日)	鹿児島	鹿児島市よかセンター	47
10	7/9 (日)	埼玉	北本市体育センター	44
11	8/6 (日)	富山	黒部市総合体育センター	64
12	8/20 (日)	奈良	桜井市芝運動公園総合体育館	36
13	9/3 (日)	大分	はさま未来館・挟間小学校体育館	52
14	9/24 (日)	愛知	稲沢市祖父江町体育館	47
15	10/21 (土) ~22 (日)	青森	(財) 青森県体協 岩木青少年ス ポーツセンター	52
16	10/22 (日)	広島	五日市市体育館	120
17	10/28 (土) ~29 (日)	北海道	函館市立亀田小学校	30

■ソフトバレーボール マスターリーダー養成講習会

No.	開催期日	開催地	会 場	受講者数
1	6/24 (土) ~25 (日)	大阪	武田薬品大阪工場 体育館	89

3) 日本体育協会公認上級コーチ、コーチ、上級指導員、指導員、バレーボール専門教科認定講習会を開催した。

■バレーボール上級コーチ専門科目講習会

No.	開催期日	開催地	会 場	受講者数
1	8/4 (金) ~6 (日)	東京都	明治学院大学	44

■バレーボールコーチ専門科目講習会

No.	開催期日	開催地	会 場	受講者数
1	8/4 (金) ~8 (火)	東京都	明治学院大学	28

■全国大学バレーボール部員対象バレーボール指導員専門科目講習

No.	開催期日	開催地	会 場	受講者数
1	8/5 (土)～8 (火)	東京都	明治学院大学	114
2	8/6 (日)～9 (水)	大阪府	大阪府立大学工業高等専門学校	54

■日本クラブバレーボール連盟対象バレーボール指導員専門科目講習会

No.	開催期日	開催地	会 場	受講者数
1	8/19 (土)～20 (月)	富山	富山市総合体育館	46
2	9/23 (土)～24 (日)	富山	富山市総合体育館	46

4) 公認講師認定講習会・公認講師研修会・公認指導者研修会

No.	開催期日	開催地	会 場	受講者数
1	12/9 (土)～ 10 (日)	東京	ホテルマイステイズ五反田駅前 会議室	7

④ 審判員等養成事業

講習会名等	開催期間	会 場	参加者数
全国6人制審判講習会	2018/3/24 (土) 3/25 (日)	東京共和文具会館 慶応義塾中等部	400
全国9人制審判講習会	2018/4/1	JFC 日本研修センター 武田薬品大阪体育館	186
全国ラインジャッジ・クリニック (黒鷲旗大会)	5/1 (月)～ 5/3 (水)	大阪市中央体育館	56
国際審判員・国際候補審判員技術 強化事業	5/1 (月)～ 5/7 (月)	大阪市中央体育館	46
ブロックA級審判員講習会	4/8 (土)～9/24 (日)	全国9ブロックで開催	733
A級審判員資格取得講習会	8/9 (水)～8/13 (日)	近畿大学	75
9人制特別A級審判員資格審査 講習会	10/7 (土)～10/9 (月・ 祝)	パナソニック(株)エコソリ ューション社体育館	23
Vプレミア・チャレンジチーム研 修事業	5月～10月	プレミアチーム・チャレ ンジチーム	国際審判員 V特別審判員 参加
A級審判員研修会 (6人制)	11/27 (月)～11/29 (水)	大田区総合体育館他 墨田区総合体育館 他	112
A級審判員研修会 (9人制)	10/27 (金)～10/30 (月) 11/24 (金)～11/27 (月)	ハンナリーズアリーナ他 大阪市中央体育館	52 41

⑤ 指導者および審判員資格認定事業

1) 指導者資格認定事業

上記(3)③指導者養成事業1)～4)参照

2) 審判員資格認定事業

下記の審判員資格の認定と登録を行った。

○A級審判員 ○A級候補審判員 ○B級審判員 ○C級審判員

(4) 全国大会等国内競技会開催事業

① 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会

国内最高峰大会として位置づけられている大会で、開催都道府県および各ブロックのご協力により、本年もブロックラウンドから JOC カップ選抜チームが出場した。ファイナルラウンドでは商店街とのコラボや大会演出に注力し、盛会に終了した。

■都道府県ラウンド

開催期間： 4/30 (日) ～8/6 (日)

開催場所：各都道府県内体育館

(出場：男子 517 チーム、女子 504 チーム) (昨年：男子 502 チーム、女子 509 チーム)

(来場者数：35,369 人) (昨年：38,470 人)

■ブロックラウンド：

開催期間： 9/2 (土) ～10/28 (土)

開催場所：各ブロック内体育館 (出場：男子 121 チーム、女子 113 チーム)

(昨年：男子 115 チーム、女子 110 チーム)

(来場者数：11,916 人) (昨年：12,067 人)

JOC 選抜チーム出場 男子：群馬、栃木、茨城、埼玉、山梨、千葉、東京、神奈川、愛知

女子：群馬、栃木、茨城、埼玉、山梨、千葉、東京、神奈川、愛知

■ファイナルラウンド：

開催期間： 12/15 (金) ～17 (日)、23 日 (土・祝) ～24 日 (日)

開催場所：東京都 東京体育館・大田区総合体育館 (1 回戦～決勝)

12/15-24 の入場者数：17,917 人 (昨年：26,008 人)

優勝 男子：パナソニックパンサーズ、女子：トヨタ車体クインシーズ

準優勝 男子：豊田合成トレフェルサ、女子：デンソーエアリービーズ

② 全日本小学生大会

■都道府県大会：

開催期間： 4/29 (土・祝) ～7/2 (日)

開催場所：各都道府県内体育館 5,258 チーム (男子 931、女子 3,844、混合 483)

■全国大会：

開催期間：8/7 (月) ～10 (木)

開催場所：東京都 東京体育館他

都道府県代表 136 チーム (男子 487、女子 517、混合 386) 1,783 名参加(ベンチスタッフ含)

優勝 男子：若葉ビクトリー (東京都)、女子：高須 VBC (広島県)

混合：あおいジュニア (愛知県)

③ 全国都道府県対抗中学バレーボール大会

開催期間： 12/25 (月) ～28 (木)

開催場所：大阪府 大阪市中央体育館他 (男女 96 チーム)

優勝 男子：福井県 女子：大阪北

④ 全日本バレーボール高等学校選手権大会

開催期間：1/4（木）～8（月・祝）

開催場所：東京都 東京体育館（男女104チーム）

優勝 男子：鎮西高等学校（熊本県）、女子：金蘭会高等学校（大阪府）

⑤ 秩父宮賜杯・秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学選手権大会

開催期間：11/27（月）～12/3（日）

開催場所：東京都 大田区総合体育館他

優勝 男子：早稲田大学、女子：青山学院大学

⑥ 前記各競技会に加え本会主催、開催地都道府県協会等の主管により、以下の各種別全国大会を開催した。※大会結果は本会のホームページをご覧ください。

大会名等	開催期間	会場	参加数
全日本9人制バレーボールトップリーグ 女子 レギュラーラウンド ファイナルラウンド	4/29（土・祝）～6/4（日） 6/17（土）～6/18（日）	川越市・日田市・大垣市神 戸市 広島市	8
全日本9人制バレーボール トップリーグ男子	10/7（土）～10/9（月）	東京都江東区 BumB 東京スポーツ文化館	8
全日本9人制実業団女子選手権大会	7/21（金）～7/24（月）	さいたま市記念総合体育館他	16
全日本9人制実業団男子選手権大会	7/21（金）～7/24（月）	さいたま市記念総合体育館他	56
全日本9人制クラブカップ女子選手権大会	7/27（木）～7/30（日）	長野市ホワイトリンク	52
全日本9人制クラブカップ男子選手権大会	8/4（金）～8/6（日）	大阪市中央体育館	56
全国9人制社会人西ブロック男女優勝大会	10/28（土）～10/30（月）	岡山県総合グランド体育館 岡山市総合文化体育館	男子36 女子20
全国9人制社会人東ブロック男女優勝大会	11/9（木）～11/12（日）	大垣市総合体育館 岐阜経済大学体育館	男子37 女子22
全日本9人制総合女子選手権大会	10/27（金）～10/30（月）	島津アリーナ京都	47
全日本9人制総合男子選手権大会	11/24（金）～11/27（月）	大阪市中央体育館	56
全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会 決勝リーグ・グランドチャンピオンマッチ	30.1/27（土）～3/11（日） 30.3/18（日）	決勝リーグ 各会場 加須市 騎西総合体育館	男子14 女子9 男女4
黒鷲旗全日本男女選抜優勝大会	5/2（火）～5/7（日）	大阪市中央体育館	男女16
全日本クラブカップ男子選手権大会	8/10（木）～8/13（日）	和歌山ビックホエール他	56
全日本クラブカップ女子選手権大会	8/11（金）～8/13（日）	福岡市民体育館	53
全国ヤングクラブ優勝大会	9/23（土・祝）～9/24（日）	大阪府立門真スポーツセ ンター・大阪府立体育館	U14 84 U19 24
全国ソフトバレー・シルバーフェスティバル	10/7（土）～10/9（月・祝）	さいたま市記念総合体育館	54
全国ソフトバレー・レディーズフェスティバル	10/27（金）～10/29（日）	日立市池の川桜アリーナ	56
全国ソフトスポレクフェスティバル	11/10（金）～11/12（日）	米沢市営体育館	48
全国ソフトバレーフリーフェスティバル	30.2/17（土）～2/18（日）	町田市立総合体育館	48
全国ヴィンテージ8'S交流大会	10/20（金）～10/22（日）	御殿場市体育館	50歳 60 60歳 23
全国ママさんバレーボール大会	8/2（水）～8/5（土）	花巻市総合体育館	47

- ⑦ 公益財団法人日本体育協会等との共催により、以下の大会を開催した。
- 1) 国民体育大会バレーボール競技
期日：10/6（金）～10/9（月） 開催場所：愛媛県 八幡浜市・伊方市・伊予市・鬼北町
 - 2) 日本スポーツマスターズ2017
期日：9/16（土）～9/19（火） 開催場所：兵庫県神戸市
- ⑧ 公益財団法人全国高等学校体育連盟等との共催により、以下の大会を開催した。
- 1) 全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技
期日：7/28（金）～8/1（火） 開催場所：山形県 山形市・寒河江市・天童市
 - 2) 全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技
期日：7/28（金）～8/1（火） 開催場所：宮城県利府町・多賀城市
 - 3) 全国高等学校定時制・通信制大会
期日：8/2（水）～8/6（日） 開催場所：神奈川県平塚市
- ⑨ 公益財団法人日本中学校体育連盟等との共催により以下の大会を開催した。
- 1) 全日本中学校バレーボール選手権大会
期日：8/22（火）～8/25（金） 開催場所：宮崎県宮崎市・都城市

⑩ ジャパンビーチバレーボールツアー

本会と日本ビーチバレーボール連盟が主催となり、昨年度に引き続き日本におけるビーチバレーボール競技のより一層の確立と、日本から世界に羽ばたくビーチバレーボール選手の輩出を目的として、5月～9月にかけて全国各地で開催した。継続開催のグランフロント大阪でのツアーファイナルは、日本の上位チームが集結する大会として定着するよう、告知にも注力し、盛況のなか開催することができた。

■ 2017年度開催期間並びに開催都市、参加チーム数、優勝チーム

大会名	開催期間	開催都市	参加チーム数	優勝チーム
マイナビ 第1戦 東京大会	5/3(水・祝) ～5/5(金・祝)	東京都 港区	男子：16 女子：16	高橋巧 / 白鳥勝浩 長谷川暁子 / 二見梓
第2戦 伊予市大会	6/10(土) ～6/11(日)	愛媛県 伊予市	男子：16 女子：16	高橋巧 / 白鳥勝浩 西堀健実 / 草野歩
第3戦 南あわじ大会	7/1(土) ～7/2(日)	兵庫県 南あわじ市	男子：16 女子：16	高橋巧 / 白鳥勝浩 西堀健実 / 草野歩
第4戦 行橋大会	7/16(日) ～7/17(月・祝)	福岡県 行橋市	男子：16 女子：16	畑辺純希 / 村上齊 長谷川暁子 / 二見梓
第5戦 大洗大会	7/29(土) ～7/30(日)	茨城県 大洗町	男子：16 女子：16	高橋巧 / 白鳥勝浩 石井美樹 / 村上めぐみ
第6戦 若狭おばま大会	8/5(土) ～8/6(日)	福井県 小浜市	男子：16 女子：16	西村晃一 / Jeremy Casebeer 石井美樹 / 村上めぐみ
第7戦 平塚大会	8/26(土)	神奈川県	男子：12	西村晃一 / Jeremy Casebeer

ガラナ・アンタルチカ杯	～8/27(日)	平塚市	女子：12	溝江明香 / 橋本涼加
第8戦 東京大会	9/2(土) ～9/3(日)	東京都 大田区	男子：12 女子：12	高橋巧 / 白鳥勝浩 石井美樹 / 村上めぐみ
第9戦 都城大会 霧島酒造オープン	9/22(金) ～9/24(日)	宮崎県 都城市	男子：12 女子：12	西村晃一 / Jeremy Casebeer 長谷川暁子 / 二見梓

■ ジャパンビーチバレーボールツアーファイナル

大会名	開催期間	開催都市	チーム数	優勝チーム
グランフロント大阪大会	9/30(土) ～10/1(日)	大阪府 大阪市	男子：8 女子：8	高橋巧 / 白鳥勝浩 石井美樹 / 村上めぐみ

⑪ 国民体育大会ビーチバレーボール競技 (正式競技)

今年度より正式種目として開催された。

大会名等	開催期間	開催都市	チーム数	優勝チーム
第72回国民体育大会	9/15(金) ～9/17(日)	愛媛県 伊予市	男子：16 女子：16	愛媛県 (長谷川徳海/庄司憲右) 福井県 (村上めぐみ/幅口絵里香)

⑫ 日本選手権

各世代の日本一を決める日本選手権大会として、本年は以下の日程で実施した。

大会名等	開催期間	開催都市	優勝チーム
第16回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会	8/4(金) ～8/7(月)	大阪府 阪南市	三重県立津工業高 (青山/土方ペア)
ビーチバレー・ジャパン・カレッジ2017 第29回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会	8/8(火) ～8/10(木)	神奈川県 川崎市	男子：神戸学院大 (中川/斎藤ペア) 女子：産業能率大 (石坪/柴ペア)
'17マドンナカップ in 伊予市 ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会	8/10(木) ～8/13(日)	愛媛県 伊予市	兵庫県 (興津/刑部ペア)
第31回ビーチバレージャパン	8/11(金・祝) ～8/13(日)	神奈川県 藤沢市	男子： 西村晃一/長谷川徳海 女子： 長谷川暁子/二見梓
第8回全国中学生ビーチバレー大会	8/13(日) ～8/14(月)	神奈川県 藤沢市	男子： 富士見クラブ(埼玉県) 女子： 中島中学校(神奈川県)
第28回全日本ビーチバレー女子選手権大会	8/17(木) ～8/20(日)	大阪府 泉南郡岬町	西堀健実/草野歩

(5) 用具・用品等の公認・公認ルールブック販売事業

競技の公正、安全ほか競技者が安心して楽しくプレーできるように、ボール、ネットほか用品・用具の公認・推薦の認定を行うとともに、競技者及び体育施設等へ、より良い用品・用具が提供されるよう、販売・製造事業者への働きかけを行った。また、バレーボール用品・用器具のメンテナンス徹底について全加盟団体に依頼文書を発信し、事故防止に努めた。

また、公認審判員やソフトバレーリーダーなどに対しては、資格保有者としての自覚を促すため、公認物品の販売を通してその着用を推奨するとともに、本会関係者を対象とした「JVA バッジ」の販売も引き続き行った。

バレーボールの愛好者、審判員、指導者をはじめとする多くの国民に対し、最新のルール情報を提供するために、公認ルールブックであるバレーボール6人制競技規則、同9人制競技規則、ソフトバレーボール競技規則、ビーチバレーボール競技規則の出版販売を行なった。また、2017年度版からは6人制・9人制競技規則に続いて、ビーチバレーボールの競技規則にもケースブックを付属し出版販売を行なった。

(6) Vリーグ開催・審判員等派遣事業

Vリーグ機構が全国各地で主催するVプレミア・チャレンジリーグのJURY、審判員等を派遣し、大会運営における支援を行った。

区分	JURY	審判員	チャレンジ レフェリー	合計
V・プレミアリーグ男子	60	202	49	311
V・プレミアリーグ女子	59	206	47	312
合計	119名	408名	96名	623名

(7) 肖像使用・バレとも・物品販売等公益事業の財源を獲得する事業

公益事業を安定的に推進するべく、以下の3事業を行なった。

① 肖像使用許諾事業

本会が所有する各種標章の無断及び不適切な使用がないように適切な管理運営を行うとともに、本会登録選手の肖像権等の管理運営を行い、肖像を使用した選手等に肖像権使用料収入の配分を行なった。

② バレともサイト運営事業

2014年度から開始したファン向け有料会員サイト「バレとも」で、全日本チーム活動の様子を記事や写真で紹介し、国際大会のチケット優先販売を行うことでファンの満足度を高め、会員数の拡大に努めた。

③ バレーボール関連グッズの販売事業

国内・国際大会のバレーボール観戦者や国内大会の出場者に対しては、観戦や出場を通して国民の一体感、真摯な挑戦やその姿を見ることによる感動など、豊かな人間性を育み、一人一人の満足度を向上させることを目的に、応援グッズや参加記念品ほか本会公認物品の販売を行った。

(8) 東京 2020 大会準備室

バレーボール競技、ビーチバレーボール競技及びシッティングバレーボール競技の成功に向け本会事務局に準備室を設置し、「JVA 東京オリンピック・パラリンピック競技大会準備委員会」を設置した。

- ① FIVB との連携の中、競技施設、競技運営、テストイベント、事前キャンプ、スポーツマネージャー選任にかかわる諸準備を行った。
- ② ボランティア募集のための準備を行った。
- ③ 政府や東京都、そして公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との緊密な連携と積極的な協力を促進するとともに「アスリートファースト」及び「レガシープラン」を念頭に準備を進めた。

(9) その他

- ① コンプライアンス違反に対応するための JVA 処分基準を制定した。
- ② 評議員会及び理事会の在り方についての検討を行い「評議員の選定に関するガイドライン」を制定した。
- ③ 協会ホームページの各種データを充実させ、アーカイブとしての機能を強化した。
- ④ 2007 年度から導入した MRS（個人登録管理システム）の老朽化に伴い、JVA-MRS のリニューアルを行った。全国 9 ブロックや加盟団体代表委員総会、その他の会議等を通して説明会を実施し、2018 年 3 月 19 日からチーム登録受付を開始した。資格保有者（審判、指導者）や本会役員等の登録については 6 月末から 7 月末を予定している。
- ⑤ V リーグ機構と緊密に連携して事業を展開するため、主要事業の小委員会を実施する予定であったが、担当者の変更等により継続的に開催できなかつたので、次年度に向けて積極的に働きかける。

以上